



平成 18 年 3 月 14 日

各 位

会社名 星 光 P M C 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 乗越 厚生
(コード番号 4963 東証二部)
問合せ先 取締役管理本部長 伊佐木 融
(TEL . 0 3 - 6 2 0 2 - 7 3 3 1)

中期経営計画(2006年 4月 ~ 2009年 3月)

「Active '08」
“アクティブ ダッシュ(Dash) 08”

星光PMCグループは、このたび2006年4月からスタートする中期経営3ヵ年計画「Active '08」を下記の通り策定いたしました。

2003年4月の合併によって発足した当社グループは、中期経営計画「チャレンジ2005」(2003年4月~2006年3月)のもと、グループの経営基盤を確固たるものにすべく、統合作業を進め、会社成長への布石を打ってまいりました。

今回の中期経営計画は今後3ヵ年のグループの経営戦略を明確にし、企業価値の継続的な向上を実現するための行動計画であります。

当社グループは「生き生きとした社会 会社づくり」を目指してよりアクティブに日々の企業活動に進進してまいります。

記

1. 経営理念

私たちは、住みよい社会、豊かな未来の創造に貢献します。

2. 経営指針

- (1)法を遵守し、フェアな事業活動を行います。
- (2)良き企業市民として、環境、安全、省資源に心を配り、社会に貢献します。
- (3)新しい価値を創造し、市場やお客様のニーズに応えます。
- (4)株主や社会に対し、積極的な情報開示を行います。
- (5)明るく自由で活力ある企業風土を創ります。

3. 中期経営計画の基本戦略

- (1) 国内成熟市場のニーズの質的变化に対応した新規薬品システム・樹脂の上市
- (2) 継続的な研究開発投資に裏付けられた環境対応・省資源の差別化商品の開発
- (3) 成長市場である中国への進出による量的拡大
- (4) 製紙用薬品事業、インキ・記録材料用樹脂事業に次ぐ、第3の柱となる事業の立ち上げ
- (5) グループの一体経営によるシナジー効果の追求

4. 経営数値目標(連結)

(単位: 億円)

	06年 3月期 見込み	09年 3月期 目標	増減
売上高	236	300	+ 64
経常利益	17	30	+ 13
経常利益率	7.2%	10.0%	+ 2.8%

5. 事業戦略

(1) 製紙用薬品事業

製紙業界の質的な変化に対応する新たな薬品システムの提供、中国市場への進出による地域的拡大

板紙のアルカリ抄紙を可能にし、リサイクル古紙使用時の問題点の解消に貢献する薬品システム

新聞用紙の高品質化を推進する薬品システム

高高紙、高級ティッシュ等差別化紙製品の品質確立に寄与する新規製紙用薬品

本年5月完成の張家港工場を拠点とした中国市場でのシェア獲得

(2) インキ・記録材料用樹脂事業

ユーザー密着の研究開発体制による新規商品の上市

環境対応型のフレキソ・グラビア印刷インキ用樹脂の拡販

事務機器の世代交代に対応した記録材料用樹脂の開発

(3) 新規事業

当社グループのコア技術である乳化・分散技術、重合技術を応用した、第3の事業の立ち上げ

(4) トータルコストダウンの継続

6. 数値目標の詳細(連結ベース)

(1)セグメント別

(単位:億円)

	06年 3月期 見込み	09年 3月期 目標	増減
< 売上高 >			
製紙用薬品事業	171	222	+ 51
インキ・記録材料用樹脂事業	65	78	+ 13
合計	236	300	+ 64
< 営業利益 >			
製紙用薬品事業	12	24	+ 12
インキ・記録材料用樹脂事業	4	6	+ 2
合計	16	30	+ 14

(2)その他数値

(単位:億円)

	3ヵ年合計
設備投資	53
減価償却費	41
研究開発費	53

(対売上高比率 6.3%)

	09年 3月期末
有利子負債額	0

(06年 3月期末 = 10億円)

	09年 3月期末
従業員数	524

(06年 4月現在 = 513人)

7. 配当政策

配当性向、配当利回り等を総合的に勘案して安定的かつ継続的な配当を目指します。

以上

ご注意

本資料中の業績予想、事業計画は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって異なる場合があります。